

第5回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・PTA・コミスク部会 (会議録)

会議の名称	第5回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会環境整備・PTA・コミスク部会
開催日時	令和5年11月2日(木) 午後7時から
開催場所	串原コミュニティセンター サンホール
議題	課題No.9「校舎の増築、改修に関すること」について ～第4回部会のグループ発表をふまえた配置計画案について～
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森 慶隆 安藤 常雄 三宅 勝彦 鈴木 則彦 安藤 真由美 川上 容子 永田 満依子 後藤 純一 園原 正明 片桐 慎一 後藤 理恵 山田 宗則 森 夕里亜 大石 佐緒理 佐藤 美保 教育委員会 丸山 頼彦 長谷川 椋 小栗 研 横田 洋平 市川 寛子 市川 太一
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	0名

事務局 では、皆様こんばんは。11月に入って、日の暮れるのも早くなって、もうすぐに真っ暗な状態だったかと思えますけれども、今日はお集まりいただきましてありがとうございます。これより5回目の部会を始めさせていただきたいと思っています。

初めにお伝えさせていただきます。インターネット配信を、映像ではなく音声で行うということにしております。ここに、前に置いてあります、ここで拾っております。これで、今、インターネット配信という形でやらせていただいております。こういう形で部会のほうも始めていきますので、皆様、ご了承のほうよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、会の初めに、部会長様から挨拶と一言のほうよろしくお願ひいたします。

部会長 改めまして、こんばんは。3連休前ということで、お忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。11月で、秋もいよいよ深まってくるなどという感じで。実は私、ここへ来る前その温泉へ行っておりましたが、何と温泉、もうクリスマスソングが流れておりました。ちょっと早いなと思っておりましたけど。

この環境部会も今日で5回目を数えることになりました。この環境部会ということで、今一度ちょっと立ち返ってみたいと思うんですけども、今、校舎の増築ですとか改修についての議論をいただいておりますが、この部会が議論する中で、責任を持った決定をするものではないということだけ、ちょっと承知をいただきたいなと思います、確認ですが。こうして、とは言いながら、皆さん方から多くの意見を出し合っていて、それから、市のほうからもこれまで多くの資料が提供されてきたものと思います。特に今回なんかもそうですが、資料をいち早くお伝えしようということで、速達便で来てましたけども、そんなようなことになってます。

そうした中で学校というのは、多くの時を生徒たちが過ごす場所ですね、これ当たり前です。そうした将来を担う子供たちのよりよい環境を考えていくというものでもあります。こうしたことから、中学校の施設の整備方針を、全体として、専門家といいますか、建築関係の方の意見を踏まえて、意見をすり合わせをして、なおかつ、まとめ上げて提案をしていく形にしていきたいなというふうに思っておりますので、活発な議論をよろしくお願ひをいたしたいと思ひます。今日はどうぞよろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございます。では、部会の議事進行は、部会長様のほうで行わせていただきたいと思いますので、部会長様のほうでよろしくお願ひいたします。

部会長 じゃあ、お手元にレジュメございますように、協議事項に早速入りたいと思ひますが、今やっております校舎の増築、改修に関することについてですが、前回の第4回の部会の各グループの発表を踏まえた配置計画案について、市のほうから説明をお願ひいたします。

事務局 では、ご説明させていただきたいと思ひます。既に皆様のお手元に届いていた図面も、もう一度置かせていただきました。あと、航空写真の図面が3枚置いてあります。それと、それぞれ、皆様のお手元用にとということで、左上に資料1と書いてあるものと、カラー写真の両面刷りのものになります。まず資料1と書いてあるものをご覧いただきながら、少しご説明をさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

皆様に先にお配りしましたように、前回の部会で、学校のグラウンドの真ん中にも校舎を増築するというような案という形で、今日は皆様のご自宅にもお配りしましたE案というものをご用意しています。そのE案と、前回示していたD案。D案は、建物のつくりをさらに再検討したものを今回示して、D-2案というふうにさせてあります。前回まで部会で提案のあった項目に配慮したつくりという形で、絵のほうも描き上げた、検討したものになっております。

この資料の1というふうにご覧いただき、まずもって少しお話をさせていただきます。施設をつくるに当たりましては、やはり基準がございました。中学校施設整備指針というものの中に、施設の計画の在り方。そして、屋外のどのような計画をしたらいいのかという計画の在り方が示されています。特に、第6章屋外というところでは、防災・防犯など安全性の確保に十分配慮しましょうよということ。あと、体育の授業、そういうときのためのグラウンドの使い方、また、陸上競技の実施に必要な規格のトラックであるとか、こういうものをちゃんと確保するよというものが、学校施設を造る上で1つの基準になってます。やっぱりこれを満たしていかないといけないというものがあります。その中で、表にしてあります。前回まで、いろんな意見を伺った中で、一番左の一番上ですね、雨天のときであったり、例えば体育であったり、いろんな活動するときに日陰も欲しいよねということで、ピロティという提案を出させていただきました。これはやっぱり欲しいよねということです。今回、D-2案とE案という書き方をしておりますが、どちらの案もピロティを造るという構造はできますよというのが結果的に分かります。

もう一つが教室の向きですね。前、ちょっと西向きの絵が描いてありました。だけど、やっぱり南向きのほうがということも考えまして、じゃあ、できるのかといったときに、E案もD-2案も南向きの校舎を造ることがやっぱり可能になってきたもんですから。お示しましたように、前のD案は横向きでしたのを、縦並びの形に変更できる構造も可能であったということで、西日問題もクリアできるのかなと。

あともう一つが、音が漏れるので、廊下に対面の教室でなくて横並びですよというようなお話の中で、どちらもやはり横並びの教室も、E案でもD案でも可能ということです。

あと、広さの問題も、新しく造るので、これも広い教室もできる。あと、そうですね、緊急時に生徒の引渡し。そういうときに配慮した、車が通る動線、校舎を造るときにもやっぱり配慮したいよねといったときに、これもE案でもD案でも確保はできる形が取れると。

最後の段にあります、今のグラウンドでトラックコース分を確保できるかどうかということになると、Dの案ですと、お示したように確保できましたが、Eの案だと、どうしてもやっぱり無理なんですよね。ピロティの下を通ればいいんじゃないかというご提案もあったんですが、やはり安全性ということを考えますと、ここはやっぱり不可能な状態にはなりません。

DもEも、今まで話してきた中の条件はクリアできてくるんですけど、あと課

題になるのはグラウンドの使い勝手のところが課題かなという差がはっきりと表われたところなんですけども。その中で、この安全性というところを、施設整備指針にあります、そこをちょっと基にして考えた場合ですけれども、けがとか体調不良、こういうとき保健室、こういうときの緊急搬送ということを考えたときには、D-2の案はもちろんグラウンドがすぐ目の前ですので、近く対応は可能ですけれども、E案だとB&Gのグラウンドを使うというような想定になった場合ですと、やはり遠いということで、緊急搬送という意味では、少し、ちょっと大変なことが想定できると。

もう一つ、体育の授業のときの安全性であったり、緊急ですね、AEDを使うようなときの場合のことですね。D-2案ですと、グラウンドがすぐにあるということで、多くの職員も駆けつけることが、すぐに対応できると。ただ、E案のほうですと、やはり距離がある、急階段もあるという中で、どうしても対応が簡単にはいかないなということなんです。

あと、不審者であったり、近年でいうと動物ということもあります。そういうものの進入をどう発見できるかということなんですけれども、D-2案の場合ですと、校舎にいる職員が多くいるというところで、より多くの目線が常にあるというところの中で、発見の可能性は高い。E案の場合ですと、やっぱりグラウンドが直接見えてこないというところであって、気づくということが少し懸念かなというものになります。

お手元に配りました写真。ちょっと今回、写真撮ってきました。どんな感じになるのかなというところで、この写真1が、今のグラウンドから学校を見た感じ。その下が、B&Gの、その下のグラウンドですね、そこから学校側をちょっとのぞいたときですと、やはりちょっと校舎全体がなかなか見にくいという状態でした。あと、裏面の写真3ですと、現在こういうようなグラウンドとの行き来をする階段。写真4は、それを横から撮った状況になります。

今のグラウンドとB&Gのグラウンド、やっぱり高低差約15メートルほどございました。階段は90段近くございまして、移動時間、想定される校舎の玄関辺りからグラウンド中央に行くのに、やはり往復で8分ぐらいかかるという状況でした。

あと、現在使ってる生徒たちにも、先生を通じて聞き取りをさせていただいたというところの中で、ここに書かせていただきました。やっぱり体育授業するということになると、移動が遠いよねという話。あと、やっぱり冬、悪天候時、上り下りが非常に不安もある。あと、やっぱりどこの学校もすぐ隣がグラウンドというところで、昼休み等にグラウンドで活動するということがあるんですけども、これが下のグラウンドになると、気軽にといったところはなかなか難しいので、少し難色があるなという御意見をいただいております。

まずここでは、今のD-2とEの建物の配置について、いろんな角度から確認をさせていただいたところをまず説明させていただきました。次は、写真の図面のことについてちょっとまた説明させていただきますので、ちょっとそれを見ていただきたいと思います。

事務局 そうしましたら、机のほうに航空写真で、山岡中学校、恵那西中学校、恵那東中学校の駐車場の状況ということで、各学校へ聞き取りをしましたので、その辺をご報告させていただきます。

まず、山岡中学校ですが、学校規模、教員数 13 名、職員数というのは、事務員さんとか用務員さん、いわゆる先生ではない方が 2 名、合計 15 名の方がいらっしゃいます。生徒数は 73 名で 5 学級となっております。それに対して、じゃあ駐車場は何台あるかといいますと、52 台。職員室から出た玄関先のところと体育館の裏手側、また、学校へ上がる途中にあります立志の塔駐車場って名前がついていますが、そこを合わせると全部で 52 台あるということが分かりました。じゃあ、実際に、このグラウンドであったり駐車場をどういうふうに使っているかといいますと、まず授業参観日。これは学校駐車場。赤枠で囲ってあるところを使いつつ、また、②山岡 B & G 北側駐車場ということで、前回、ロータリーにしたかどうかという提案をさせていただいた場所になるんですが、こちらを使っているそうです。こちらで足りない分につきましては路上駐車をしているということです。

グラウンドを使う体育祭の場合はどういうふうに使っているかといいますと、先ほどと同じように、学校駐車場であったり、B & G の北側の駐車場を使っています。修学旅行につきましては、生徒数がそこまで多くないので、大型のバスが実際に職員玄関の前まで上ってきたということで、こちらを使っていました。引渡し時に関しましても、学校の職員玄関の目の前の駐車場に止めて、体育館に親さんが迎えにいったり引渡しをするというような感じで使っています。令和 8 年度統合時の学校規模としましては、生徒数は 336 名、14 学級を想定しております。

続きまして、恵那西中学校について御報告いたします。こちら、学校規模、教員数 30 名、職員数 6 名の計 36 名。生徒数は 383 名、16 学級となっております。学校内駐車場ですが、まず赤枠の囲ってある校舎に近いところ、こちら 41 台ございます。あと、送迎・社会開放用ということで、体育館の東側にまた駐車場が別であるんですが、そこは 43 台あります。

順番にいきます。授業参観時は、学校のグラウンドを使っております。グラウンドを使う体育祭といいますと、②のまきがね西体育館駐車場、または③のまきがね西グラウンド、こちらに車を止めています。次、修学旅行につきましては、ちょっと右の上のほうにあります、まきがね公園体育館の駐車場、こちらに大型バスが三、四台続いてきて、ここで乗り降りをしています。引渡し時に関しましては、学校体育館東側の送迎用駐車場。または、まきがね西体育館駐車場に車を止めて、職員玄関まで歩いてきて引渡しをして、また駐車場に戻るといったような活用をしております。

最後、恵那東中学校です。こちら、学校規模、教員数が 31 名、職員数が 4 名、計 35 名です。生徒数は 402 名の 16 学級です。駐車場は 46 台ございます。

順番にいきますと、授業参観時は、やはり学校グラウンドを使っております。今度、グラウンドを使う体育祭ですが、こちらちょっと遠方になりまして、ま

ず②の武並神社駐車場。こちら南側にあります。ここに止めていて、これで足りない場合は、今度③の消防本部の駐車場、こちらにも止めております。これでも足りない場合は、大井小学校まで。図面の左上のほうにあります。そちらの駐車場を借りて、歩いていってるそうです。修学旅行につきましては、③の消防本部の駐車場にバスが来て、そこで乗り降りをしております。引渡し時は、学校グラウンドに車を入れて、そこから歩いて行って、職員玄関まで迎えにいて、引渡しを受けているそうです。

こうして比較したときなんですが、やはり先ほどグラウンドをどうするかということで、学校のグラウンドもありつつB&Gのグラウンドがあるということで、いろんな使い方があるのかなと思います。

まず、1点目、恵那西中学校の事例なんですけど、部活動が、ソフトボール部と野球部がございまして、同時にやっぱり1つのグラウンドは使えないので、ソフトボール部は恵那西中の学校グラウンドを使う、野球部はまきがね西グラウンドを使うというような、そういった使い方もあります。次の議題で部活動の話もありますが、いろんな部活ができた場合、やはり1つのグラウンドでは全部の部活はできないのかなと思うので、やはり複数あると、そういった複数の使い方もあるのかなということも考えられます。

あと、次に、スクールバスの乗降場所。前回、旧恵南デイサービスの場所と、先ほど言った、山岡B&Gの北側の駐車場。こちらちょっと薄く水色で塗ってありますが、ここでどうかという提案をさせていただいたんですが、今回は、この場所に限らず、やはり学校に近い場所がいいのか、それとも体力づくりのために少し離れた場所がいいのかというような、ちょっと提案をしていただけるといいかなと思います。

やはり近い場所ということは、子供たちも安全にはなりますが、前回の意見で、こども園の送迎用のバスであったりお迎えの車の危険性があるといった意見もございましたし、逆に遠くすることで、ほかの市町村さんでも、あえて歩かせているというような事例も聞いたことがありますので、あえて遠くにするというほうもありなのかなということもありました。なので、この辺ならどうかという提案も今日していただけるとありがたいなと思います。その考えを基にして、次の議題であるスクールバスの運行計画で詳細を検討していきたいなと思っております。

私のほうからは以上です。

事務局

校舎のまず計画と、あと敷地全体をどういうふうに見ていったらいいのかなというところで、大体、同規模の人数がいる恵那西、恵那東というところをちょっと今日は参考という形で出させていただきました。

この後、またグループ討議ができるような。どういうふうにするかは、また後でご説明させていただきますけれども、今まで第3回、第4回で意見をいろいろ出していただいて、今、各グループの机の上に、校舎周辺の利活用って書いた白い紙がある、その左下辺りには、前回取りまとめたいただいた提案のことを、もう一度ここにちょっと、前回の会議でもお話しさせていただいたんです

が、ちょっとここにまた列挙させていただいております。これを踏まえて、実際、増築部分もそうなんですけども、既存校舎の中身も改装していかなあかんというところで、今後の設計に出された、いろんな提案を取り込んで、これから設計のほうには取りかかっていくことに、進んでいくということになっていきます。

そのほか、この部会でも1つご提案もあったように、ランチルーム。そのことについて、実は教育のほうを管轄してる部会、ここで学校図書をどうしていいかという議論をしていただいとる中で、やっぱり今の図書館スペースをより広くして、メディアスペースなんていうふうになるのかどうかは別としても、より多くの活用をしたほうがいいよねということで、ランチルームと今の図書館、ちょうど上下にあるところ、それを一体利用するような形がいいんじゃないかという方向性が示されてきてます。この部会でも、ちょうどここにあったように、ランチルームを図書館にして2階へつなげたらどうかというようなご提案、ここでもやっぱり同じようなご意見がありました。教育部会のほうでも、ぜひそのようなアイデアを取り入れてほしいなというご提案をいただいていますので、ここでも、まずは皆さんにもご紹介して、ご承知していただければなと思っています。

それでは、今日、今ざっと、今まで部会4回ほどやってきた中で、いろんな意見を出させていただいて、あと最後、この辺りでどういう方向性を示していいかなというところに入ってきてるかなと思っています。今回、グループ討議で、さっきちょっと提案あったように、バスの乗降場所。前はここでというような絵を示したんですが、それよりも、ちょっとやっぱりこの間の意見やと、近いという方向か、いやいや、やっぱりバスやと歩く機会が少なくなっちゃうんで、ちょっと遠くても歩かせようかと。実際、よその市町村でも、あえて遠くしたというところもあったそうです。だから、そこを皆さんどういう考えで行こうかなというのを話し合っていたらいいなというのを踏まえながら、これから入るグループ討議のやり方を、ご説明させていただきますので、そこから始めたいと思います。

事務局 本日、最終的には前回と同じように、各グループで取りまとめたご意見を発表していただくというところに行きたいと思っています。そのときには、この左上に校舎周辺の利活用というところに、今日グループでまとめたいただいた意見を貼っていただいて、ほかのグループに提案をしていただくという形を取りたいと思います。

この紙を見ていただくと、増築する校舎のご意見を書く。それから、グラウンドの利用について。そして、スクールバスの乗降場所。この3点が、今日グループで討議していただきたい視点になります。いきなりここに入って、ここに皆さんの御意見貼っていてももらっても結構ですし、いきなりいとなかなか難しいので、前回のように、それぞれのところでメリット・デメリットを貼っていただいて、それを基にしながら、じゃあ、我々のグループは、例えば、D-2案とE案であれば、E案を我々のグループとしては推したいなというこ

とになれば、ここからここに付箋を貼り直してもらって発表していただく。それから、グラウンドの利用については、ここに貼ってもらってもいいですし、それぞれざっくばらんに話していただく中で、どなたかに付箋に書いてもらって、ここに貼ってもらって、グラウンドの利用としてはこんなふうです。そして、スクールバスのことについても、ここに貼ってもらってもいいですし、いきなりこっちでもいいんですが、我々のグループとしてはこんなふうな意見でまとまりましたというような形で発表していただけたらと思います。

取りまとめと書きましたが、状況によってはなかなか、今日4名、5名の人数ですので、例えば、2対2に分かれてしまって取りまとめも難しいということになれば、こういった意見とこういった意見で、どちらも甲乙つけがたいということでご意見いただければ結構ですので、そのような形で進めていただきたいと思います。

何かご意見よろしいでしょうか。よろしいですか。では、私からの説明は以上です。

事務局 では、また事務局の職員も入った上でこれから進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。会長、部会長さんも今までと一緒にここで加わっていただけると非常に助かります。

増築する校舎・グラウンドの利用・スクール場所の乗降場所について～グループ討議～

事務局 それでは、8時10分になりましたので、ここまでの御意見をほかのグループと共有したいなというふうに思います。ちょっと発表していただける方、ご準備のほうよろしいでしょうか。

では、過去2回こちらからなので、今回はこちら側、こども園部会のほうから発表よろしいでしょうか。お願いします。

こども園部会発表者

取りあえず、今までの話を基にD-2案というので、グラウンドの活用できるならそれが一番いいかなというところがあったのと、D-2案にするのであれば、教室がいっぱいできるのでいいんですけど、図書室というのがやっぱり遠くなるというのはちょっと問題かなというのと、部室棟がなくなるから、それをどうするのかというのは今後考えていかなくちゃいけないねというのがD案に対して。それに、もし図書室の分室をD案のところになんか新しくつくっていったり、生徒が自由に使えるスペースというのも、せっかくこんなに広く増築するのであれば、今の中だと旧校舎のほうにそういうスペースがあると思うので、その場所、新校舎のほうにもそういう、生徒が自由に使えるようなスペース、自閉症の子とかも逃げられるようなスペース、図書室の分室みたいな感じのがあるといいのかなという話が出ました。

航空写真からのグラウンドの利用については、こんなもんかなという感じ、特別には出てなくて。

スクールバスの乗り降りする場所に関しては、やっぱり今日申原来て思ったと

ころもあるんですけど、もともとのバスに乗ってる距離が距離、時間も時間なんで、もう近いほうがいいんじゃないかなど。せっかくロータリーとして回らんだったら、もう乗ってちゃってもいいんじゃないかぐらいの意見も出ました。ただ、それをするんであれば、やっぱり今のバスの案だと、道がやっぱり、幾らすれ違えるスペースがあるとはいえ、歩いていたり自転車で行く子もいれば、バスの子もいる。こども園の入り口、送迎する道も近くにあるで、やっぱり危ないなというのがあるんで、やっぱり市道、歩道の拡張、広げるというのは、確実に。近い場所にするんだったら、特に必要だな。近くにしてみてもやっぱり必要だとは思うんですけど。ていうような意見が出ました。

事務局 ありがとうございます。

では、小学校部会をお願いします。

小学校部会発表者

はい、よろしくお願いします。

まず、校舎の案についてなんですが、今回、非常に具体的な、しっかりと根拠を示していただいてありがとうございます。前回それがなかったもので、残念ながら私たちも意見をまとめられなかったりとか、割と言いたいことを言ってしまったというところがあると思うんですけど、そういったものを出していただくと、非常に納得して話が進められるということがありますので、それについては感謝申し上げます。

その上で、やはりE案というのは、グラウンドの安全面というところを考えると、やはり難しいなというところで、うちの班もD-2案のほうを今回は推薦していきたいと思います。

グラウンドの利用につきましては、ただやはり通常授業の体育などは、建築中のことも含めて、何とかD-2案のグラウンドとか使えるとは思いますが、やはり大きな行事、体育祭だったりとか、駐車場が必要になるような行事のときには、そういったときはB&Gのグラウンドのほうをメイングラウンドとして使わせていただいて、中学校のグラウンドのほうは駐車場などの施設として使用していくというような活用方法を提案したいと思いました。

それから、上のグラウンドについてもそうですし、下、B&Gをグラウンドにした場合もそうなんですが、やはりトイレの確保というところは、新しいトイレを造る、ピロティの1階部分に造っていただくというようなこともやっていただきたいと思います。

それから、スクールバスの乗降場所については、この班は、少し離れた場所ということで、恵南デイサービスセンターの跡地などですね、こちらのほうのロータリーの建築という形をお願いしたいと思いますが、現在、山岡中学校の生徒さん送ってくる親も、恵南デイサービスセンターのところで生徒さんを降ろして帰られるという事実があるようですので、バスもそういった送迎の自家用車、同じ場所で回る、もしくは、その近くで回れるような設備にしていきたいというところ。ただ、自転車通学をしている生徒さんが入ってくる場所もありますので、現状の中学校横のグラウンドの駐輪場はなしにするとして、下の

ロータリーのところに同じように自転車置場も造れたらいいんじゃないかという意見もあります。

それから、下から子供たちが歩いていくことになるわけなんです、やはりその際の歩道の部分ですね、拡張なり安全性の確保は必ずしていただきたいと思います。また、既存道路を使うのではなくて、例えば、どっか裏側、こども園をぐるっと回っていくような道であったりとか、山岡保育園と書いてある、この坂のところを真っすぐというふうになるかもしれませんが、別の歩道を整備するという案も1つ提案させていただきたいと思います。

それから、アイデア提案された事項の部分で、今回、参加していただいた女性が保育教諭さん。

委員 養護教諭です。

小学校部会発表者

養護教諭ということで、そちらの視点からかなり多くの意見をいただきましたので、そちらのほうを発表させていただきますが。従来の中学校の入り口、部屋の入り口の扉って半開きだったりとか、ストレッチャーとかが全然入れないような施設のところが多いというところですので、まず教室等々の出入口の間口は広いもの、ストレッチャーが入れる広さにしていただきたい。それに合わせて、エレベーターも対応できる大きさにしていただきたい。

それから、感染症というところもいろいろ問題が出てきておりますので、できればロスナイ換気などをして、効率的な換気ができるようにしていただけたらうれしいという意見がありました。

すみません、こちらとしては以上です。

委員 エレベーター、エレベーターもストレッチャー対応に。

事務局 ありがとうございます。

では、中学校部会からお願いいたします。

中学校部会発表者

まずは、校舎はやはりD-2のほうが、グラウンドが上手に使えるんじゃないかということで、よいのではないかと。前、ちょっと懸念してた西日がこれで解消できるのではないかとということで、D-2がいいのではないかとということです。

グラウンドのほうは、立地的にB&Gのグラウンドもあって、こっちの中学校のグラウンドもあるという、2つ使えるというのはやはりすごい立地じゃないかなと思うので、ちょっと2つ使えるようになるのがいいかなと。校舎が建って人数も増えるのに、ちょっとグラウンドが狭くなるので、体育祭とかそういうような行事はB&Gを活用するといいいんじゃないかということがありました。

次は、スクールバスですけど、やはり通学時間を短くしたいという保護者の方もおられるので、わざわざ1時間もバス乗ってきて、また10分、20分かけて歩いていくのはちょっと大変である。そこも含めて1時間以内にならないかという意見は、そういう意見を各保護者のほうから聞いてきた方もみえましたの

で、体力をつけるために歩きたいという親さんもいらっしゃるみたいですが、近くで、通学時間を短くするというのを考えるなら近くのほうがいいんじゃないかということです。

そのためには、図面で示された周回の道路ですけど、これをなるべくバスが、大型バスが通れるように拡張していただいて、この周回をバスが回れば、そこで、校舎前で降りるということもできると思います。何かの、すごい雨降ってるときには、ここで乗り降りするというような形もできるので、この周回道路は、狭いところはちょっとなるべく広くしていただいて、バスが回れるようにしてもらいたいと。

そうすると今度、下りていく道も狭くて、バスがすれ違えないとかあるので、ちょっと待つ、少し待機をしておいて、出ていかなければいけなくなったりするのもありますし、こども園との車の、交差点のところもあります。ちょっとやっぱり狭くて危ないところもあるので、それも含めて、道路の拡張をしていただきたいと。なるべく歩道と道路も、大型バスですれ違うのは大変かもしれないですけど、普通車は確実に、危なくないようにすれ違えるほどの道幅が欲しいという要望がありました。

以上です。

事務局

そうしましたら、校舎については、どのグループもD-2案でしていったらどうだろうかということで今日御意見を、ここは1つにまとめられるのかなんてことを思っています。細かい部分は、また今後検討が必要などころもございますが、事務局がもっと早くに出してくれたらなんていう御意見をいただきましたので、真摯に受け止めながら、また次回につなげていきたいと思っています。

グラウンドについては、若干、校舎が建つことで手狭になるんですが、今、恵那西中や恵那東中の規模でも男女共修の体育の授業がようやく恵那市も始まってきていて、恵那西でも今年度から男女共修でやっています。恵那東は来年度ぐらいから男女共修でやるんですけど。そうすると、1学級で体育の授業、グラウンドでしますので、新学校では、恐らく30人から35人の人数になるかと思いますが。その中で、サッカーですとかソフトボールなんかの球技をやるときに、どれぐらいかなということ心配にもなるんですけど、十分な広さがありますので、できそうかなということを検討しています。

ご意見あったように、大きな行事のときには、そういうときには下のグラウンドも使えるので、そういった2つのグラウンドを有効活用するというのも新学校の大きなメリットになるかと思っています。

トイレについては、非常に意見としては重要なところかなと思いますので、参考にさせていただきます。

それから、校舎についてもご意見いただきましたが、こうやって回を重ねていくと、いろんなアイデアをやっぱり多くの皆さんからいただけるので、ほんとに自分にとっても新しい発見がたくさんあって、いろんな視点からまたご意見いただけるとうれしいななんてことを思っていますので、ぜひ次回に向けても

いろいろ考えていただいて、こんな意見も、あんな意見もというのを教えてください。

バスについては、やっぱり二通り出てきておりますので、この回でどちらかということには、当然、結論としては出ませんが、両方活用できるようなということは、お金的には苦しくなるところもあるんですよ。ちょっとまたその辺検討ですね。

副部長 取りあえず、出していこうよ。出していこう、両方。予算として要望出していこう。

事務局 分かりました。じゃあ、恵南デイのところも駐車場にしながら、校舎周りをぐるっとスクールバスが回っていけるようなハイブリットができれば最高だというご意見を頂戴したという。

事務局 何となく近いところにあるということは、何となく皆さん聞けたかなと思ったんで。あとはどういうふうに造っていくかというのは、ちょっとまた絵を描きながらね、ということ。

事務局 グループ討議ありがとうございました。では、会長さんに返すんで。

事務局 では、そうですね、部会長さんと副会長さんもお戻りいただいて。

ちょっと最後、事務局、私から。バスのことについては、実は次からはバスのルートとか、どういうふうにやっていくかって、多分そこと絡んでくる話にはなりますので、今日いただいた意見はもちろんなんですけど、何となく、やっぱり通学時間とかいろいろ考えると、近くにある、降ろせる場所があったほうがいいのかというのは何となく、今、ご意見やったかなと思ってます。あと、それを具体的に、じゃあどこに造れるのか。さっき言った周回がちゃんと可能になるのかというのは、これからまた技術的なことも踏まえながら、ちょっと検討していきますけども。スクールバスの運行計画と一緒に、それも考えていきたいと思っておりますので、お願いしたいと思います。

では、今日のここまでのことは、これで何となく方向性が示せたかなと思っておりますので、皆様ほんとにいろんなご意見出していただいて、いい形ができたかなと思っております。また持ち帰りまして、個々の具体的な設計のほうに反映がどこまでできるかをこれから進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

では、部会長さん、次のところで進行のほう、よろしく申し上げます。

部会長 はい。じゃあ、2番目のご協議、大変ありがとうございました。

次は、これを踏まえて、今、バスの話もあったかと思うんですが、次回の部会の開催日等についてお願いします。

事務局 次回予定は、スクールバスの運行計画と、少し情報提供もしていかなあかんで、部活動のことについて、これをやっていきたいと思っております。実は日にちを、候補日を決めてきました。11月29日水曜日。部会長さんと副部長さん、その前の時間に確認させていただいたら、それでオーケーだというふうにいただいたんですけども、次回、その日にちで行わせていただきたいと思います。11月29日水曜日です。

場所は岩村かなと思ってます。これからまた会場を確認しながらいきたいと思
いますけれども、岩村で行う予定ということで。また正式にはご案内を発送さ
せていただきたいと思います。

では、議題の話も、今言ったスクールバスの関係と部活動に関する事という
ことで。また、どんなようなことを具体的にというのは、また事前にはお示し
したり、資料のほう提供して、会議のときがスムーズにいけるように準備はさ
せていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、このような形で次進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
はい。

部会長
事務局

これで、私どものほうからお伝えする事項は全て終わりました。何か最後のお
一言ございましたら。

部会長

一部のところでもあったんですけど、非常に分かりやすい資料を今回提示をして
いただいたんで話が進めやすかったかなということを思ってます。それで、言
いましたように、最初、私が申し上げたんですけど、速達で送ってくるぐらい
市のほうも一生懸命時間を割いて、なおかつ、少しでも早く皆さんにこの議題
を頭の中へ入れてもらって、こうした会議のところに臨んでもらえるような仕
組みづくりができてきましたので、これを今後も反映して行って、よりよい方
向に進んでいけたらいいなというふうに思っております。

皆さん方には、いろいろ大変でしょうけど、ほんとこれから正念場になると思
いますんで、今いる子供たちも含めて、これからの子供たちが、この地域、あ
るいは、どう言うんですかね、世界を背負っていくと、そこまで思いがある気
がします。以上です。

副部会長
事務局

では、お疲れさまでした。

ありがとうございました。

今日はどうもありがとうございました。これで閉会とさせていただきます。